

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山下 智史
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4267 中学校管理運営事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100301 教育費・中学校費・学校管理費										
	<b>事業</b>	020000 中学校管理運営事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						中学校の維持管理 学校運営の円滑な実施 教育環境の維持整備						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
<b>平成31年度 予定</b>	<b>令和 2年度 予定</b>
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		94,849	106,976
特定 財源	国庫支出金	0	672
	都道府県支出金	0	672
	地方債	0	0
	その他	659	734
一般財源		94,190	104,898
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.7
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	5,005.0	5,005.0
	嘱託職員	575.0	575.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,580.0	5,580.0
市民一人当たりの経費		1.9	2.2
総額		100,429.0	112,556.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	727	盆栽借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金
11節 需用費	49,769	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気、ガス、水道、下水道使用料）、修繕料
13節 委託費	978	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,762	教科研究費負担金ほか、上田市委託生徒負担金
その他	40,613	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	872	盆栽借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金
11節 需用費	58,449	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気、ガス、水道、下水道使用料）、修繕料
13節 委託費	1,025	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,813	教科研究費負担金ほか、上田市委託生徒負担金
その他	43,817	手数料、機器賃借料、備品購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	教育環境整備等、学校の適正な管理運営を行うために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行い、経費の削減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
中学校における教育環境整備等の訂正な管理運営を行うことができた。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
年度ごとの予算の多寡はあっても基本的には継続すべき事業		少子化が進む中、学校規模の在り方等を検討する必要がある	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	